

感染者情報の公表の見直し（原案）について

1 現状

現行、道では、感染症法等の関係法令等の下、公衆衛生上の必要性と個人情報の保護とを比較衡量しながら、本人の同意が得られた内容について、患者の年代や性別等を感染者ごとに公表。その際には国が居住地を都道府県単位で公表することを基本とする中、本道の広域性や人の動きなども鑑み、振興局単位で公表している。

2 見直しの理由

道の公表方法に関しては、道議会等から、市町村単位等での居住地公表の検討が必要との意見があるほか、道の「新型コロナウイルス感染症対策に関する検証 中間取りまとめ」においても「個人情報への配慮を前提とした的確な情報開示」を課題とし、「道として、感染拡大防止対策の推進、個人情報の保護、積極的疫学調査など保健所活動への影響等の観点も踏まえ、市町村とも充分協議を重ね、道として対応を整理する」としたところ。

こうしたことを踏まえ、道では、より適確な公表のあり方を検討してきた中、**公表に関する市町村へのアンケート調査結果が取りまとまったことや、国における公表基準見直し検討が進められている中ではあるものの、今般、国から、より身近な地域単位での感染状況の分析・評価を重視して専門的見地からの議論を進める方向性が示されたことなど、新たな国の動きにも鑑み、現時点の知見等を考慮した道における速やかな整理として、次のとおり見直す**こととする。

3 見直し（原案）の内容等

(1) 基本的な考え方

感染された方や、そのご家族等への差別や偏見、誹謗中傷が起こることのないようにしていくとともに、**個人情報の保護に配慮しつつ、道民の皆様お一人お一人が自ら感染予防等に適切な行動をとることができるよう地域の感染状況を適確、かつ分かりやすく伝えることに重点を置いた公表**とする。

(2) 見直し内容

ア 毎日の公表では、振興局ごとの人数等、全道の患者の身体状況別人数等を公表（※1）。

イ 1週間に1回、市町村ごとの7日間累計感染者数を公表。

ウ 国籍、職業、陽性確定日は、感染拡大防止の観点から特に必要がある場合に公表。

(3) 新たな公表様式

別添のとおり（速報・続報・累計報）

(4) 施行日

調整中（※2）

(5) その他

施行に際し、これまでの市町村別累計感染者数を併せて公表する（※3）。

※1 個別公表は行わないので、本人同意の確認は不要となる。（「非公表」なし）

※2 3（2）イについては、施行日の1週間後から。

※3 感染者がいない場合は「0人」、累計感染者数が5人以下の場合は、個人が特定されることに配慮し、市町村名の公表に依っている方の分も含め、「1～5人」、6人以上の場合は実数をそれぞれ表記。

4 今後のスケジュール

市町村、北海道新型コロナウイルス感染症対策専門会議及び有識者会議へ意見照会（状況次第では再意見照会も）を行うとともに、道議会保健福祉委員会での報告を予定。

毎日の「速報」(原案)

新型コロナウイルスに関連した患者の発生状況について

令和 年() 月 日()00:00

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部
指揮室
総括・広報班 TEL:011-206-0132(内線)

本日(月 日)、道内において、新型コロナウイルスに関連した感染症の患者が次のとおり 名確認されました。これにより、道内で確認された患者は延べ ●名(実人数 ●名)となりました。本件について、濃厚接触者を含めた積極的疫学調査を確実に行ってまいります。

1 患者の概要

(1)居住地

(人)

空知	
石狩	
後志	
胆振	
日高	
渡島	
檜山	
上川	
留萌	
宗谷	
オホーツク	
十勝	
釧路	
根室	
道内計	0
その他	
道分計	0

(2)年代

(人)

10歳未満	
10歳代	
20歳代	
30歳代	
40歳代	
50歳代	
60歳代	
70歳代	
80歳代	
90歳代	
100歳以上	

(3)性別

(人)

男性	
女性	

※札幌市、旭川市、函館市、小樽市については、それぞれの市において公表しています。

2 その他

今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、道民の皆様への正確な情報提供にご協力をお願いいたします。

【変異株疑い事例について】

道立保健所管内の新型コロナウイルス感染症の陽性検体について、道立衛生研究所が変異株PCR検査(スクリーニング検査)を実施したところ、新たに変異株疑い事例●例を確認しました。

※道立保健所管内分の累計:●例

報道にあたりましては、個人のプライバシー等の保護のため、特段のご配慮をお願いいたします。

※本件に係るブリーフィング(説明)は実施しません。

本日、18:00に患者概要、検査の状況等に関するプレスリリースを行います。

毎日の「続報」(原案)

新型コロナウイルスに関連した患者の発生について

令和 年() 月 日()00:00

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部指揮室
 総括・広報班 TEL:011-206-0132(内線38-916)

本日、北海道内で以下のとおり新型コロナウイルス感染症の患者が確認されました。
 本件について、濃厚接触者を含めた積極的疫学調査を確実に行ってまいります。

区分	陽性者数	備考
北海道発表分	名	道内 例目～ 例目
札幌市発表分	名	道内 例目～ 例目
旭川市発表分	名	道内 例目～ 例目
函館市発表分	名	道内 例目～ 例目
小樽市発表分	名	道内 例目～ 例目
合計	名	道内 例目～ 例目
本日までの累計	名	実人数 名

1 患者の発生状況

(1) 居住地別

	患者との接触等		再陽性者数	合計
	あり	なし・調査中		
空知				
石狩				
後志				
胆振				
日高				
渡島				
檜山				
上川				
留萌				
宗谷				
オホーツク				
十勝				
釧路				
根室				
道内計	0	0	0	0
その他				
道分計	0	0	0	0

(2) 年代

	(人)
10歳未満	
10歳代	
20歳代	
30歳代	
40歳代	
50歳代	
60歳代	
70歳代	
80歳代	
90歳代	
100歳以上	

(3) 性別

	(人)
男性	
女性	

(4) 現在の状態

	(人)
無症状	
軽症	
中等症	
重症	

(5) 現在の状況

	(人)
入院中	
入院調整中	

※入院中には、宿泊療養施設に入所中の患者を含む。

(6) 発症日(推定)

							(人)
○月○	○月○	○月○	○月○	○月○	○月○	○月○	
○月○	○月○	○月○	○月○	○月○	○月○	○月○	無症状

※札幌市、旭川市、函館市、小樽市については、それぞれの市において公表しています。

1週間累計報(原案)(統報添付)

(7) 市町村別の患者の状況

令和 年 月 日(日)～ 月 日(土)までの7日間累計

※毎週月曜日のみ公表

施行日のみ (令和2年1月28日～令和3年4月 日までの累計)

(人)

空知	夕張市		胆振	室蘭市		上川	士別市		オホーツク	北見市																									
	岩見沢市			苫小牧市			名寄市			網走市																									
	美瑛市			登別市			富良野市			紋別市																									
	芦別市			伊達市			幌加内町			美幌町																									
	赤平市			豊浦町			鷹栖町			津別町																									
	三笠市			壮瞥町			東神楽町			斜里町																									
	滝川市			白老町			当麻町			清里町																									
	砂川市			厚真町			比布町			小清水町																									
	歌志内市			洞爺湖町			愛別町			訓子府町																									
	深川市			安平町			上川町			置戸町																									
	南幌町			むかわ町			東川町			佐呂間町																									
	奈井江町			管内計			美瑛町			遠軽町																									
	上砂川町			日高	日高町			上富良野町			湧別町																								
	由仁町				平取町			中富良野町			滝上町																								
	長沼町				新冠町			南富良野町			興部町																								
	栗山町				浦河町			占冠村			西興部村																								
	月形町				様似町			和寒町			雄武町																								
	浦臼町				えりも町			剣淵町			大空町																								
	新十津川町				新ひだか町			下川町			管内計																								
	妹背牛町				管内計			美深町			十勝	帯広市																							
秩父別町		渡島	北斗市			音威子府村		音更町																											
雨竜町			松前町			中川町		士幌町																											
北竜町			福島町		管内計		上士幌町																												
沼田町			知内町		留萌	留萌市		鹿追町																											
管内計			木古内町			増毛町		新得町																											
石狩	江別市			七飯町			小平町		清水町																										
	千歳市			鹿部町			苫前町		芽室町																										
	恵庭市			森町			羽幌町		中札内村																										
	北広島市			八雲町			初山別村		更別村																										
	石狩市			長万部町			遠別町		大樹町																										
	当別町		管内計			天塩町		広尾町																											
	新篠津村		檜山	江差町			管内計		幕別町																										
	管内計			上ノ国町			宗谷	稚内市		池田町																									
	後志	島牧村			厚沢部町			猿払村		豊頃町																									
		寿都町			乙部町			浜頓別町		本別町																									
黒松内町				奥尻町		中頓別町			足寄町																										
蘭越町				管内計		枝幸町			陸別町																										
ニセコ町				釧路	今金町			豊富町		浦幌町																									
真狩村					せたな町			礼文町		管内計																									
留寿都村					管内計			利尻町		根室	釧路市																								
喜茂別町					釧路	留寿都市			利尻富士町			釧路町																							
京極町			厚沢部町					幌延町			厚岸町																								
倶知安町			管内計				管内計		浜中町																										
共和町		根室	宗谷			釧路	根室	標茶町																											
岩内町								管内計			弟子屈町																								
泊村								根室	宗谷		釧路	根室	鶴居村																						
神恵内村													管内計		白糠町																				
積丹町				根室									宗谷	釧路	根室	管内計																			
古平町																根室	宗谷	釧路	根室	根室市															
仁木町										根室										宗谷	釧路	根室	別海町												
余市町					根室																		宗谷	釧路	根室	中標津町									
赤井川村																										根室	宗谷	釧路	根室	標津町					
管内計																														根室	宗谷	釧路	根室	羅臼町	
管内計		根室	宗谷			釧路	根室																											管内計	
	道内計																																		
	その他計																																		
道分計																																			

※札幌市、旭川市、函館市、小樽市については、それぞれの市において公表しています。

2 道内における検査の状況

(省略)

3 現時点における北海道の状況

(省略)

4 その他

(省略)

感染者情報の公表に係る市町村アンケート調査結果①

1 目的

新型コロナウイルス感染症の感染者情報の公表について、北海道新型コロナウイルス感染症対策有識者会議や、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会「偏見・差別とプラバシーに関するワーキンググループ」での議論等を踏まえつつ、その見直しを検討していく中で、地域の感染症対策を協働で推進する市町村の意見を把握するため行う。

2 調査対象

道内 175 市町村（保健所を設置する札幌市、旭川市、函館市、小樽市以外の市町村）

3 調査期間

令和3年（2021年）2月15日～令和3年（2021年）3月5日

4 調査方法

インターネット経由による簡易申請システムを活用した調査

5 回答数

175 / 175 市町村
（回答率：100%）

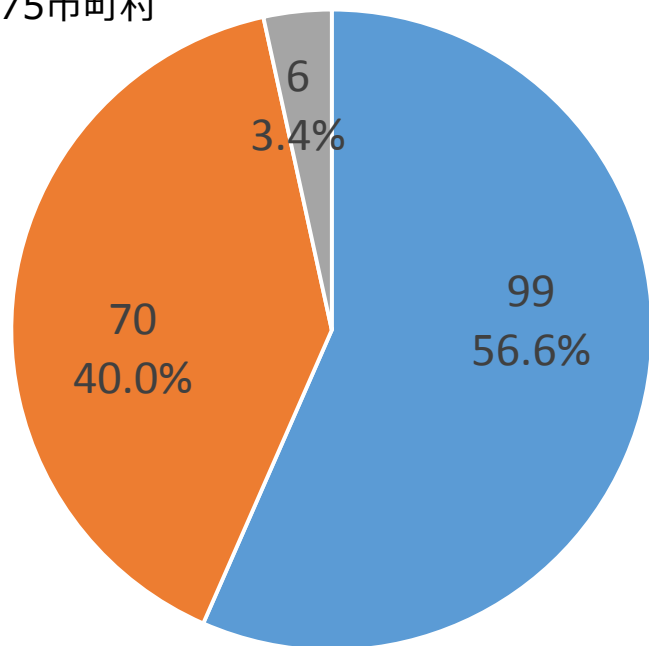
感染者情報の公表に係る市町村アンケート調査結果②

6 調査結果

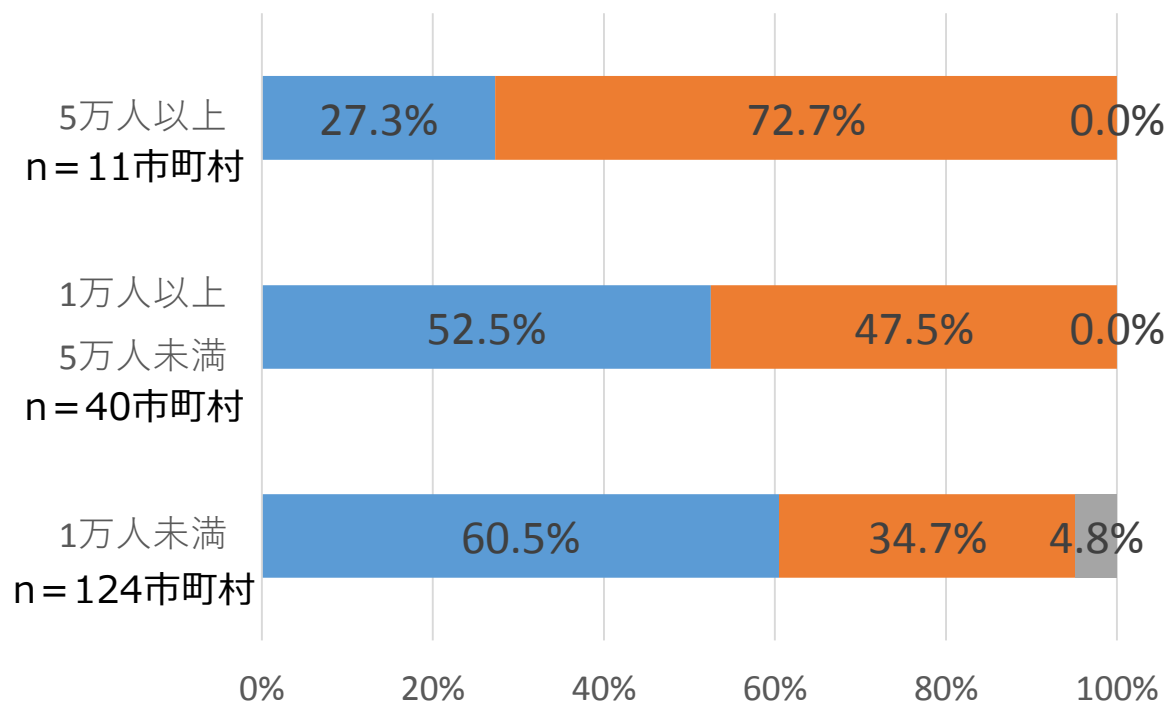
(1) 道の感染者情報の公表の見直し

現行の公表基準の見直し

n = 175市町村



人口規模別の回答割合

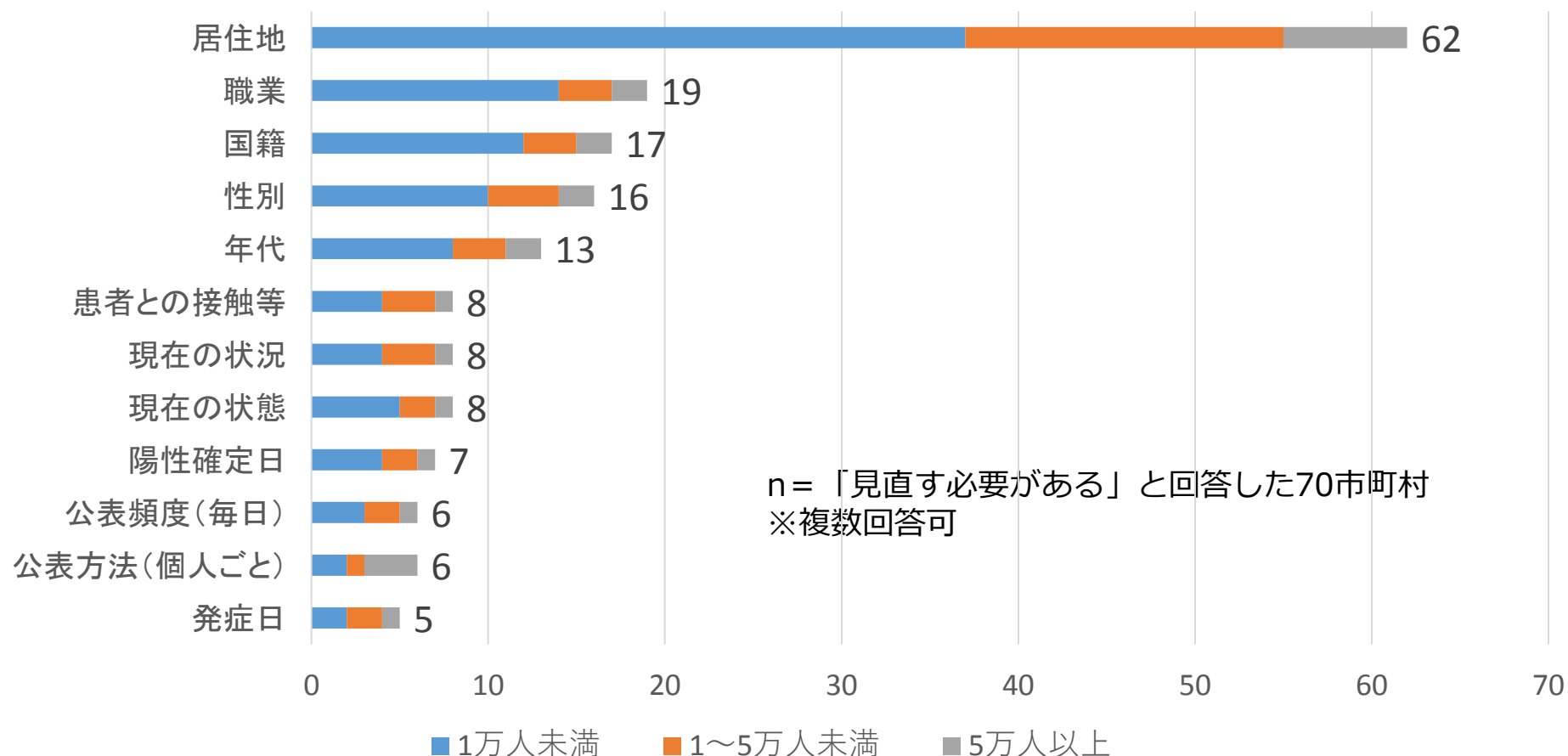


■ 見直す必要はない ■ 見直す必要がある ■ わからない

感染者情報の公表に係る市町村アンケート調査結果③

6 調査結果

(2) 見直すべき項目など



感染者情報の公表に係る市町村アンケート調査結果④

6 調査結果

(3) 見直しの内容・理由等

<居住地（市町村単位にすべき）>

- ・ 振興局単位では広すぎる。正確な感染状況を住民に伝えることで、危機感や感染予防意識を持ってもらえる
- ・ 噂話、憶測、詮索、誤った情報による誹謗中傷、混乱、疑心暗鬼、風評被害を防止できる

<居住地（保健所単位保健所、二次医療圏などにすべき）>

- ・ 小規模自治体では市町村名公表だと個人が特定される。小規模市町村への配慮は必要
- ・ 身近な地域単位で感染状況が分かれば、住民の感染予防意識の醸成や、市町村での踏み込んだ対策ができる

<国籍・職業等>

- ・ 感染可能性の高低に関係がない。個人の特定につながるのを廃止してほしい

<その他>

- ・ 本人同意が得られなくても、居住地は振興局単位で発表してほしい
- ・ 本人同意を前提とした公表は感染対策上有用でない。「非公表」が多いと、情報提供の意味がない。
- ・ 市町村単位での公表とする場合、新規分からしてほしい
- ・ 取扱いの変更は、個人が特定されないよう慎重にほしい
- ・ 公表は現行どおりでいいが、市町村別の感染者数の情報提供を希望
- ・ 住民はどこの誰かまで特定しないと納得しない風潮。誹謗中傷対策もあわせてすべき
- ・ 個人ごとの公表を廃止し、保健所や人口10万人当たりの感染者数で公表してほしい
- ・ 週単位または半月単位などで、感染状況の統計を公表してほしい

「感染者情報の公表のあり方」に関する新型コロナウイルス感染症対策専門会議委員からの意見（R3.2.2 意見照会結果（抜粋））

意見
<p>市町村単位で報告しても個人情報とは特定されないと思います。 感染症の拡大を抑制するためには正確な情報が必要です。</p>
<p>居住地は、振興局単位が良いと思います。特に、小規模の自治体では陽性者を特定し誹謗中傷するなどの事例が発生しております。本来は、正確な情報を提示すべきなのですが、その情報を悪用して利用する住民がいる限り、居住地の詳細な情報提示は意味がないと思います。ただし、少なくとも、医療機関の感染対策担当者には伝えていただきたいと考えます。これは、医療機関の感染対策や外来・入院患者への感染を防止するためです。</p> <p>「非公表」は、本来であれば正確な情報提示とは逆行することから、好ましくないとは思いますが、既にそれを認めて今に至っているとすれば、非公表とせず全例公表とするのは整合性が取れないのではないかと思います。</p> <p>国籍や職業の公表は個人情報に配慮しつつもすべきであると考えます。道民が感染リスクや感染対策の必要性を考える材料になると思います。さらに、保健所、医療機関（感染対策担当）では詳細も含めて共有すべきであると考えます。</p> <p>現時点では、保健所のみ情報を有し、医療機関には入院要請のみで情報を知らせない方針を取っているように思われます（少なくとも札幌市では）。これでは、協力せよと言われても、難しいのではないのでしょうか？</p>
<ul style="list-style-type: none">● 現在の公表項目である居住地、性別、年代、職業、現在の状態（軽症・重症など）、発症日、確定日、現在の状況（入院・入院等調整中・ホテル療養など）、患者との接触等は感染防止対策上必要な情報と考えます。● 居住地は市町村名まで必要と思います。● 正確な情報が伝わらなくなるので非公表はなくしたほうがよいです。● 国籍は必要ないかもしれません。職業は、表記を工夫するとよいと考えます。市町村の担当者にアンケートをとり、表現に使用する言葉を北海道として統一するのもよいと思います（例えば「看護師」なのか「医療従事者」なのか）。● 個人情報保護との関係では、誤って氏名等の入ったファイルを公開しないようダブルチェックをするなどでインシデントを防げば感染者情報の公表は理解されると考えます。

意見

- ①市町村単位での公表：今まで通り、振興局単位で良いと考える。身近に感染者がいるという情報を以前は求める人が多かったと思うが、すでに身近で感染者が出たという経験を多くの人がしている。振興局単位の感染者数で、状況を把握できるようになっているのではないかと。
- ②非公表をなくす方法・頻度：感染者の状況によつての線引きが必要で、不特定多数の人に接触した人や感染経路不明の人については必要と考えるが、個人情報に配慮し本人の同意を得る必要はある。
- ③国籍・職業等の公表：感染者数が少ない時は、特定されやすいので必要ないのではないかと。

感染拡大防止のために公表される情報は、大変有用と考えています。その観点からすると非公表の情報発信はあまり意味をなしません。性別、年代、現在の状態、発症日、患者との接触、居住地（振興局単位）の情報は重要と考え、それは公表していただきたい。この情報の公開でも個人の特定につながりづらいのではと考えますが、指定感染症に指定されている間は公表が必要と考えています。やめると逆に憶測が広がる心配があります。

居住地については「個人情報の保護」の観点から現状のまま「振興局単位の公表」が良いと思います。但し、性別や年齢、居住地については本人の同意がなくても公表すべきと考えます。例えば札幌市で性別・年齢などで本人の特定は不可能かと思われます。

※一般市民の方々にコロナの恐怖心を煽る報道ではなく、発症後10日もすれば感染力がなくなるなど、コロナに対する正しい理解を深めるような報道に力を入れる必要があると思います。

感染拡大防止対策の推進、個人情報保護、疫学調査など保健所業務への影響等も考慮し、市町村と十分協議の上、対応願います。

道内での感染者確認から1年が経過し、また累計患者数も1万7千人を超え、公表方法については、まん延防止に活用するために、個別の情報公開から地域での感染状況の公開へと変更する必要がある。

そのためには

1. 毎日の公表は、1例ごとではなく保健所単位の患者数を公表する。市町村ごとの公表は、人口が約700人の音威子府村のような自治体があるので、個人が特定されプライバシーの保護が出来ないので、適当ではないと考える。（根室保健所のように1市しか管轄していないところは検討が必要）
2. 単位、月単位で北海道全体の性別、年代別、患者との接触等の集計値を公表する。国籍については不要。
3. 公表に関する同意確認が、保健所が行う患者への疫学調査の際の大きな負担になっているため、感染拡大防止のために必要な項目の公表については、患者への同意確認せずに行うことにする。